

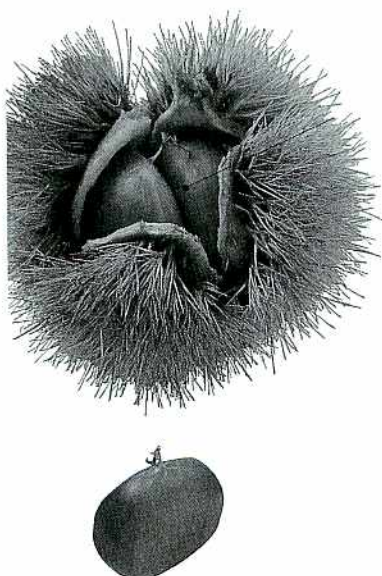
のうきよう ちがしづ



'97 **11** No.275

のうきよう ちがいつ

秋の味覚のひとつ栗。
ぼくぼくとしたその甘みは、
どこか懐かしいような気分を誘う。



もくじ

- 3 ——— 紅葉の美しさと、ぶどう狩りに感激
熟年会秋期研修旅行
- 4 ——— 農業協同組合法の原点を見つめよう
中央会会長 藤野貞雄
- 5 ——— Aコープ中標津店開店27周年大感謝祭
- 6 ——— 〈営農技術〉
蹄の管理を見直そう
- 7 ——— ETに関する視察研修開催される
- 8~9 — 中標津乳牛改良同志会府県視察研修
- 10 ——— 世界が認めた日本の種雄牛
- 11 ——— 「またおち憩いの里」完成記念式典
- 12 ——— 〈わが家の人気者〉
かくれんぼが大好きなのだ
拓農 佐藤 学くん(3歳)
- 13 ——— 〈組合長日誌〉
アメリカ農業を視察して①
- 14 ——— 〈暮らしの知恵袋〉
洋ラン栽培の楽しみ方
- 15 ——— 農協の財務状況
- 16 ——— 新たな基本法
- 17 ——— 理事会の経過
- 18~19 — 今月のフォトアルバム
- 20 ——— 10月の組合日誌

紅葉の美しさと、 ぶどう狩りに感激



ぶどう狩りを楽しむ皆さん

中標津町農協熟年会(会員二百八十三人)は、秋期研修旅行を十月六日から九日まで三泊四日の日程で二十八人が参加し行なわれました。当日まで天候が気がかりでしたが、出発当日は天候に恵まれ、目指す旭岳温泉へ発車オーライ!

初日の行程は、美幌峠・層雲峡・十勝岳望岳台・旭岳温泉までの約四百キロ。途中、車内から見える紅葉が歓声が出る程、とてもきれいで皆さんウツトリ!(中にはアルコ

秋期研修旅行 中標津町農協熟年会

ールを飲んで居眠りする人も)

旭岳温泉までは少し遅れたものの、バスでの長旅にも皆さん疲れも見せず無事ホテルに到着しました。

翌二日目は、午前八時にホテルを出発し、この旅行の最大の目玉である、ぶどう狩りへ…。富良野ワイン工場を見学し(ワインを飲み過ぎてほろ酔いぎみの人も?)小樽で昼食。そして、いざ仁木町のぶどう農園に出発。途中、雨に見舞われましたが、バスガイドさんの巧みな話術と、ゲームで楽しく過ごしながら農園に到着しました。



和気あいあい話に花が咲きました

ぶどう狩りは、味見をしながら「うーん、うまい」と、たくさん狩って皆さん大満足していました。また、農園からリンゴを皆さんにプレゼントされ、さらに大満足。

その後、二日目の宿泊先、昆布温泉へ向かいました。皆さん、温泉に入り、疲れをいやし一息ついて、宴会場へ。おいしい料理に舌つづみし、カラオケで盛り上がりました。三日目は、ニセコ高原道路から洞爺湖、昭和南山へ行き記念写真をとり、登別伊達時代村から登別温泉へ。

思い出に残った日々も、四日目は帰町の日。苫小牧から日勝峠、阿寒を経由し午後四時三十分、無事全員元気に到着しました。

楽しかった思い出をおみやげに、来年も健康に留意し多くの会員の方々が参加して下さいますよう楽しみにしています。



「農業協同組合法の 原点を見つめよう」



北海道農業協同組合中央会
会長 藤野 貞 雄

ことによって、農業生産力の増進と農民の経済的社会的地位の向上をはかることを目的として制定されました。その後、翌年の春にかけて全国各地で農業協同組合（農協）が設立されました。

農協が設立されてからは、設立直後の食糧増産の時代を経て、高度経済成長期では農村の労働力の都市への流出と、それに伴う農村や山間地の過疎化問題、経済低成長期は農畜産物の政府支持価格の抑制と生産調整、そして今目的には農畜産物の輸入自由化と産地間競争、そして他業態との競争激化など、農協を取り巻く社会情勢はめまぐるしい変化を経ながらも今日の発展を築いてまいりました。

本年十一月十九日は農業協同組合法（農協法）が公布されてからちょうど五十年の節目の年となります。農協法が公布されました昭和二十二年は、まだ戦争の傷跡が生々しい食糧難の時代でありました。農協法は農業団体を農民による農民の自主的団体たらしめ、これによって農民の自主的立場を確保し、この団体の発達を促進する

農協法はその間の経済情勢や社会環境の変化にあわせて、農協の事業発展や組織運営手法の変革が求められ、三十回の改正を経て今日に至っています。しかし、農協が事業を行なう目的であります「組合はその行なう事業によって組合員のために最大の奉仕をすることを目指す」という農協法第八条の精神は、設立から半世紀を経

た今日にありましても、組合の存在意義を確認したものととして何等変わらない思想であります。組合員の皆様ならびに役員各位におかれましても五十周年の節目を契機に、いま一度、農協法の精神と思想の原点を見つめて将来的な課題に取り組み、益々充実した組織として発展し、組合員の営農と生活を守る砦としての役割を共に果たしてまいりましょう。



ありがとうございます おかげさまで開店27周年



開店を待ち朝早くから並んでいたお客様

Aコープ中標津店 大感謝祭

開店二十七周年を迎えたAコープ中標津店の大感謝祭が、十月七日から九日までの三日間、開催されました。

Aコープ中標津店は、昭和四十五年十一月一日に開店以来、早いもので二十七周年を迎え、組合員はもとより、町内の消費者にささえられ、品質向上と安定供給に努めてまいりました。

感謝祭、三日間の特別企画として、先着三百人に天恵米コシヒカリ五*が二十人、牛乳一*と玉子一ケースがセットで二百八十人にそれぞれプレゼントされ、約三千人のお客様に来店していただきました。

また、二日目の特別企画は、米、伯爵いも、生鮮食品など、それぞれプレゼントされ、三日目はラックキー賞付ビッグプレゼントとして、新巻鮭が五十人、農協乳製品工場のコヒー牛乳と本食セットが二百五十人に、朝早くから並んでいたお客様にプレゼントされました。



期間中の来店客数は約八千六百人で前年を上回り、供給額も約三千二百万円で前年を上回ることでできました。

長年のご愛顧に感謝し、今後共Aコープ中標津店をますますご利用して下さいますようお願い申し上げます。

蹄の管理を見直そう

蹄は口ほどに物を言う！

最近農場で目立つ問題に蹄の病気があります。

蹄が腫れぼったい。飛節が腫れている。繋ぎが赤い、腫れている。蹄が不均等にすり減っている。そろりそろりと痛そうに歩く。尿溝に足をいれていたり、足を踏み変えている。このような牛はいまぜんか。

これらの症状が見られると、蹄葉炎などの蹄病が疑われます。蹄病は乳房炎や四変などと違い、分りにくい疾病かもしれませんが、確実に牛にダメージを与えます。

足が痛い、エサの摂取量が低下しますし、発情行動も弱くなります。「脚・爪の管理は、牛の生産性に大きな影響を持っています」蹄病が増えてきた原因

足の病気が目立つのにはいくつかの理由があります。

牛はあの細い足で七百鎰近い体重を支えています。足にかかる圧力は想像以上です。ですから、飼養環境の悪化が一番先に足に表れます。

① 繋ぎっぱなし管理の増加

- ・ 増えた飼養頭数、外に出せずコンクリートの上

② 飼養管理面の変化

- ・ 爪が乾く暇がない
- ・ 高水分サイレイジの給与、短い切断長

・ 穀類比率の増加、固め食いなどによるアシドーシス
これらのことがないかどうか、確認しておくことが大事です。

蹄の観察ポイント

蹄には蹄輪や分娩線という横線が見られます。(図1)これらは、飼養管理によって数や大きさが変わります。

爪は蹄冠部で作られ下に伸びるのですが、アシドーシスが起これると、この蹄冠部分に炎症が起これる。この炎症の跡が蹄輪となります。ですから、蹄輪と疾病とは関係が深く、蹄輪の数が多いほど過去の疾病も多いといえます。

根釧農試の試験研究では、TDN充足率が低いほど蹄輪、分娩線の幅が広がっています。(表1)「蹄はあなたの管理の履歴書です」

対策

I 飼養管理

ルーメン内の発酵を適切にすることが蹄病の第一の対策です。粗濃比で四五割を確保する。一回の穀類の給与量は三・五鎰位を上限に。TMRは混ぜすぎない。

II 削蹄

定期的な削蹄を行ない、爪の形を整えておくことが必要です。出来れば、年に二回は爪を切っておきたいものです。

図1 蹄の模式図

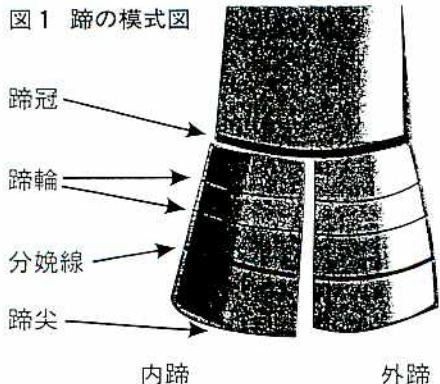


表1 分娩線の幅と分娩後のTDN充足率

分娩線の幅	TDN充足率 分娩後2～8週
0.5cm 以上	88.5%
0.2-0.4cm	96.6%
0.1cm 以下	98.6%

ETAに関する視察研修開催される

三年目を迎える本年、会員八人により（日帰り・一泊）にて実施され、ホクレン畜産実験研修牧場及び近隣牧場二戸を視察致しました。

研修牧場は昭和五十九年より家畜改良事業団の技術指導を受け、ETA業務に取り組み、各地区の酪農家に向き採卵も実施されています。

ETA実施成績は七年までに（移植）一千二百十四頭（採卵）九百頭実施され高成績を上げています。

ETA牛の管理・技術面において佐藤技師よりいろいろお話しがあり、受精卵生産娘牛を見学しました。

ETA実施牧場龍田宅は昭和五十

JA中標津実施成績

	6年	7年	8年	2-8年 合計
採卵延頭数	19	24	34	159
回収卵数平均	5.0	9.1	7.7	8.2
正常卵数平均	2.7	6.3	3.3	4.9
正常卵率	54.7	69.7	42.5	59.9
新鮮卵移植	24	44	27	188
凍結保存	22	102	86	502

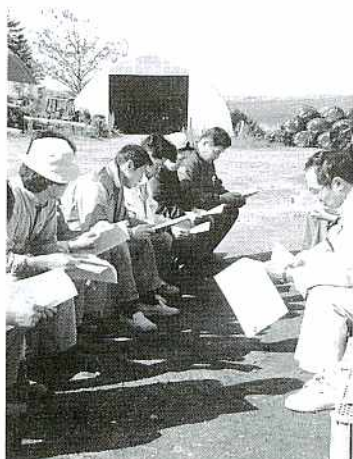
八年頃よりETAに取り組み、百頭以上（牛群の四分の一）の娘牛が生産され、その成果を見る事が出来ました。また、生産雄牛も繁殖され、種雄牛とし需要があり一般農家とは違った感じがしました。

ここで日帰り組と一泊組に分かれ、日帰り組は津別峠の紅葉を十分堪能して帰りました。

翌日、吉野牧場では平均体格得点八六・六と高レベルの群に驚き、その中に天皇杯を受賞したエコーミスト号（九五点）が目を引きました。本牛に採卵計画、他にETA事業輸入卵の導入予定があり、娘

現地研修会 終える

10月24日拓農・阿部牧場において、会員12人の参加により開催されました。



ETA現地研修

阿部牧場の経営概況及びETA事業生産雌牛状況など、ETA生産の取り組み方について話しを伺いました。その後、視察報告及びETAに関する情報交換など、焼き肉を囲んでの有意義な交流会となりました。（当初計画されていたETA事業による生産娘牛の展示が都合により出来なくなりました）



吉野牧場前にて

牛達の活躍が期待される酪農家でした。

最後に受精卵移植は雌牛側からの改良スピードが早いため、技術などの進歩により、さらに確立されると思われまます。そして、受精卵は早く消化し、牛を生産する事が肝要である事が話し合われ確認されました。

この中標津ETA視察研修は、来年も計画したいと思っておりますので、会員の皆さんが参加でき、有意義な研修になりますようご意見をお聞かせ下さい。

十月十五日十一時頃、中標津を出発し十二時過ぎに女満別空港に着き、昼食をとり名古屋へ向け出発しました。十六時十分名古屋に着き、半田市へ向かいました。

(約一時間)。十七時三十分頃より、住吉酪農発展会長・中島隆牧場へ六時頃に着き、全員移動の疲れもなく、一日目の視察に入りました。

中島牧場では、三百頭を繋ぎ搾乳という事で全員「啞然」(六十頭列が五列ある)。一日六・三、年間二千三百、出荷、六人搾乳(トルコ人四人、日本人二人、パート一人)で行なっていました。昨年は二千二百、出荷で、三億五千万円の総収入でした(F1も含む)。

一日六回給餌で、給食センターで使っている酪合を使っています。また、牛は全て和牛の入った牛を購入しF1として出荷。

二件目は丸三牧場、榊原廣さん宅で、約五十頭、年間四百、出荷。

七時頃ホテルに着き、風呂に入る暇もなく七時三十分より半田市酪農組合の森組合長も参加され、交流会が行なわれました。

良い牛を販売、 さらに良い牛の生産を

中標津乳牛改良同志会 金子 安一

森組合長によると、半田市では和牛の入っている牛しか購入しないとの事でした。乳価は夏百五円、冬七十五円で八〇割が飲用、二〇割が加工乳です。

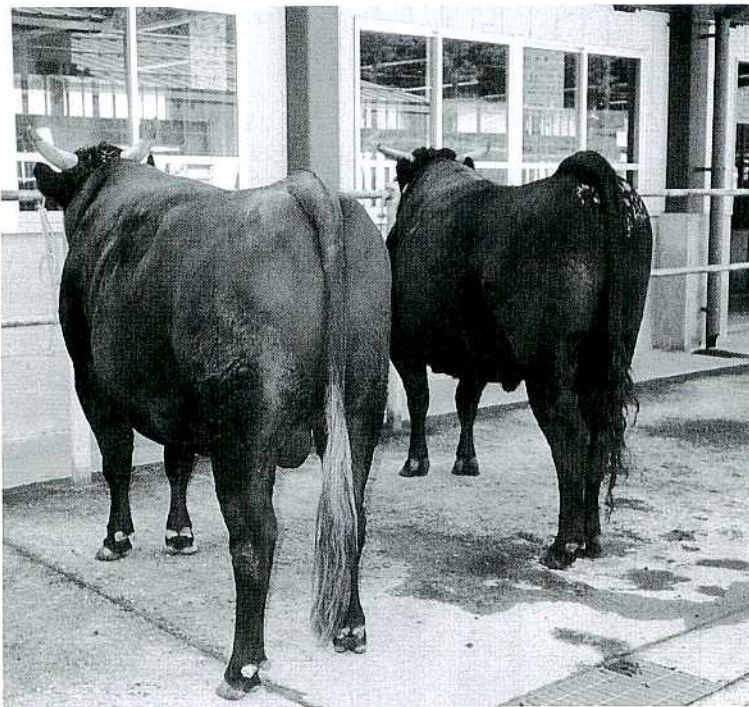
交流会は大変良い雰囲気でした。交流会は、一日目が終わりました。

翌日九時頃、中島さんと榊原さんが迎えに来てくれ、平和牧場に行きました。

EM菌を使用し、それに対し、より三年間補助があるとの事。

十時三十分名古屋から高山へ四時間の移動(たまに汽車も良い

若いうちにどンドン本州へ視察へ行こう



右・飛驒日清、左・飛驒福桜、共に岐阜の牛で種はまず入らない

ものだ。高山では山下さんと池田さんが迎えに来てくれ、五戸で行なっているマルチサービスという給食センターを視察（五戸で二年間かけ話し合いスタートした）。コーンサイレージを個々の土地で作り、輸入乾草を有利に入れ、搾乳用、乾乳用を昨年四月からミキサーで作り、現在二百頭分を作っています。搾乳用は四十二円＋消費税、乾乳用は五十円＋消費税で約千頭分くらい対応出来るとの事。その後五件の農家を視察、この地区ではほとんど中標津の牛を導入していました。また、自家生産の牛は育成牧場に初妊まで預け、四十万円位で帰ってきます。

交流会では九戸の酪農家の参加



住吉では組合長も参加し交流会

があり、話しがはずみました。

翌日、岐阜県肉牛研究センターを視察（岐阜は安福（和牛）の故郷）、朝市、高山屋台会館を見学。

山下宅にて「松茸」入りウドンを
ごちそうになり（山下さんのお父
さんも参加され、築百年という住
宅で日本酒を酌み交しながら大変

おいしい食事だった）、名古屋へと移動しました。夜は飛驒牛の焼肉を堪能し、それぞれ夜の名古屋へと消えて行きました（そっちも堪能）。

最終日は朝九時にホテルを出発、元気に中標津へ帰ってきました。私自身、大変見るに値する研修

であり、この様な機会を与えてくれた事をうれしく思います。また住吉、高山でお世話になった方々にお礼申し上げ、同志会府県視察研修の報告とさせていただきます。

（カメラの具合が悪く、牛の写真がほとんどダメになっていました。申し訳ありませんでした。）



おいしいマツタケ

世界が認めれた日本の種雄牛 ミックスを牛群の中に!

世界各国で愛読されているホルスタイン専門誌「ホルスタイン・インターナショナル誌」九月号に、

世界中で成績の優れている種雄牛として十四カ国から七十二頭の種雄牛が紹介されていますが、その中の一頭に、日本の種雄牛が掲載されていますので報告致します。

種雄牛はH3088、ルツツメドース ビー スター ミックス

ET(父・ブラックスター)で、日本において九月に公表された評価成績で総合指数二位、経済効果二十四位、決定得点二位とトータルバランスに優れています。

ブラックスター息子牛は、この他に十三頭掲載されています。この中でもミックスは世界のブラックスター息子牛の中でも、典型的にトップクラスに位置していることが認められ、日本からただ唯一の頭の出品?となりました。

ミックスの異父兄弟にはアメリカのTPI上位を賑わしたルツツメドース イー マニデル ET(父・イーグル)がおり、ファミ

リーからも北米の優良遺伝子を引き継いでいます。

紹介された種雄牛を国別に見ますと(表一)、アメリカに次いでフランスが多く、カナダとドイツが同数です。昨年より日本でもフランス、オランダの精液が販売されるようになりましたが、ドイツ、イタリアの遺伝子も世界規模で注目を受けていることがわかります。

父親別に見ると(表二)、やはりブラックスターが一番多く、各国で能力、体型の改良に貢献していることを示しています。次いでエアロスター、リードマンと続いています。

今回掲載された七十二頭は、ホルスタイン インターナショナル誌で選定したのですが、世界中で幅広く読まれているホルスタイン専門誌に日本の種雄牛が紹介されたことは、日本の遺伝的改良が世界に受け入れられ始めたと言えるのではないのでしょうか。

※種付に対して後肢の角度について注意が必要ではないでしょうか

か(注意点をさがすとすれば)。また、ゴールドバックなどスタ

ーバック系に合うのではないかと思われます。

表1 国別種雄牛頭数

国名	頭数
アメリカ	17
フランス	12
カナダ	9
ドイツ	9
オランダ	8
イタリア	6
デンマーク	3
オーストラリア	2
イギリス	1
スウェーデン	1
スペイン	1
ニュージーランド	1
南アフリカ共和国	1
日本	1
合計	72

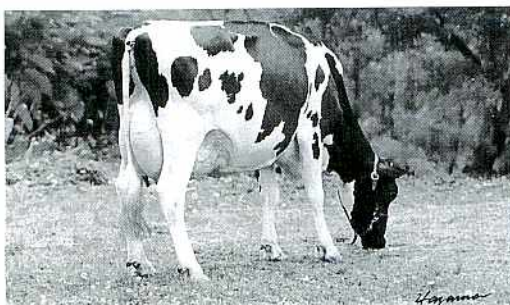
表2 父親別種雄牛頭数

父親	頭数
ブラックスター	14
エアロスター	12
リードマン	10
クレイタス	6
サウスウインド	6
マスコット	3
ポバカビー	2
リンディ	2

その他17種類



H02.02.03生 道東事業所
49514 H3088 ミックス



シーブルック ゲムメ ビースター
真狩村 佐々木和見氏所有
母の父 ローマンデル エラ ゴールドバック ET
H3088の娘牛

俣落地区の皆さんによる手づくり公園「またおち憩いの里」が完成し、十月十三日に完成記念式典が行なわれました。



俣落小中学校の児童、生徒が、くす玉を割り、完成を祝いました

手づくり公園 「またおち憩いの里」 完成記念式典



憩いの里は、以前、人工池があった所で、池を埋め立て、小中学校敷地内の「四〇五湿原」を含めて一・九畝の総面積にパークゴルフ場（十八ホール）、ゲートボール場、東屋、小公園、駐車場が約二年かけて造成されました。

記念式典には、憩いの里の整備に携わった地域の皆さんと、同校児童生徒が出席し、同校児童生徒の代表四人が、くす玉を割ったあと、俣落連合会の鶴見孝会長が「すばらしい自然環境を生かした地域住民のふれあいの場ができてうれしい。心の広場として多くの人々の利用を願っています」とあいさつし、続いて来賓の新出實町長、藤田清町議が祝辞を述べました。式典に続いて、祝賀会が行なわれ、憩いの里の完成を祝いました。

3カ月予報

札幌管区気象台

気象概況 この期間、十一月と十二月は気温の変動が大きく、一月は気温の高い日が多いでしょう。この期間の平均気温は高い可能性が大きいでしょう。降雪（水）量は平年並の見込みです。

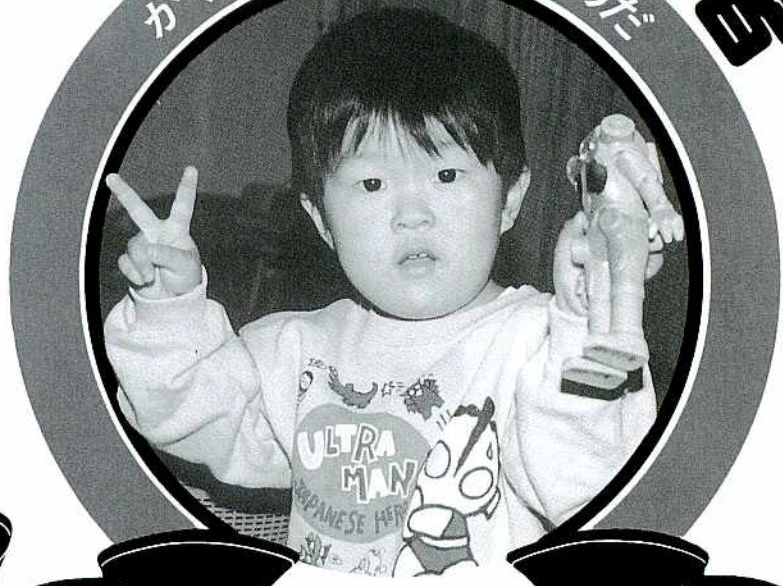
十一月 天気は数日周期で変わってでしょう。低気圧の通過後は一時冬型の気圧配置となる見込みです。平年と同様に、日本海側では曇りや雨、または雪の日が多く、太平洋側やオホーツク海側では晴れの日が多いでしょう。気温の変動が大きい見込みです。

十二月 平年と同様に、日本海側では曇りや雪、または雨の日が多く太平洋側とオホーツク海側では晴れの日が多いでしょう。気温の変動が大きい見込みです。

一月 冬型の気圧配置は長続きしないでしょう。平年と比べ日本海側では雪の日が少なく、太平洋側やオホーツク海では曇りや雪の日が多い見込みです。気温の高い日が多いでしょう。

わが家の人気者

かくれんぼが大好きなのだ



拓農地区 佐藤 敏・保江さんご夫妻

次男 ^{まなぶ} 学くん(3歳)

佐藤敏さん宅の次男・学くんは、ただいま三歳の元気で活発な男の子。

かくれんぼが大好きで、お父さん、お母さんが牛舎からあがってくる、ワザとかくれて遊ぶそう(かくれる所はいつも同じとか...) また、お買いのものにくくと、きま

ってお店の中でのかくれんぼ大会が始まり、お店の人にも有名になってるとか。

けれど、ある日とてもお店が混

んでいて、かくれてはみたもののお母さんを見失ってしまい、泣きだしたこともあるというおちやめさんなのです。

五年生のお兄ちゃんと、二年生のお姉ちゃんがいる学くんにとって、遊びは、お兄ちゃん達の影響が大きいよう。

ファミコンの前に座ると、大人顔負けの腕を披露し、びっくりさせてくれます。

「まだ字も読めないのに、本(攻略本)を見ながらゲームするのよ」とお母さんも苦笑い。

おばあちゃんも、ゲームの相手になり出され、大奮闘しているよ



やんちゃっ子だけど、虫が大キライなのです

うです。

また、ブロックを使って、トラクターやロボットを上手に作りもできるといいう器用な面もある学くん。

「お兄ちゃん達に比べると、やっぱり一番やんちゃで、きかないかも」と話すお母さんですが、時々、赤ちゃんの真似をして、甘える所なんかは、やっぱり末っ子、カワイイ時期なのですね。

「病気なんかせずに、人をキズつけたりしない優しい子に育ってほしい」とのお母さんの願い通り、優しい家族に囲まれて、元気にスクスク育っています。

来年の春には、保育所へ通い始めるそうで、たくさんお友達ができるのを楽しみにしている学くんでした。



家の中でも元気いっぱい

アメリカ農業を視察して①

合理化でん粉工場の原料受け入れ開始時期に大雨があり、心配された天候も、安定した秋の好天となりました。でん粉工場も順調に操業しており、また、馬鈴しょ、ビートも天候に恵まれて、平年作を上回っています。

馬鈴しょでは生食、加工が供給過剰気味で下落しています。ビートは糖分が一八割を越える様です。

今年の畑作物価格は馬鈴しょの政府基準価格、ビートの生産者価格の引き下げと、糖分帯の見直しとなりました。凶悪化とはいえず、今の段階での農畜産物価格の引き下げは納得出来ないものです。農家手取りが実質下がらない関連対策に、今後は努力してまいります。

十月の下旬より二週間にわたり、中央酪農会議主催のアメリカ酪農の研修団に参加してまいりましたので報告を致します。

団員は、中央酪農会議、生産者団体、乳業、全農、公庫、経済連、農畜産事業団などによる二十二人で

した。主な研修テーマは、米酪農産業の概況及び酪農政策の概要。九六年農業法、乳価のしくみ、環境問題、BST（牛乳増産のためのホルモン）酪農組織、牧場視察

●今月のたより……

組合長日誌

代表理事組合長
三友 盛行



などなどです。訪問先は、ワシントン州のアイスクリーム、チーズ工場と販売店、コーネル大学、シカゴの牛乳先物取引所、ウィスコンシン

大学、カルフォルニア州農務省、東部、中東部、西海岸の代表的な三牧場を視察、研修しました。

米国では五年毎に農業法が新しく制定されます。九六年に新農業法が制定されました。この農業法の大きな特徴は従来の、減反による生産調整と不足払い制度を廃止し、二〇〇二年までに農家直接固定支払制度を導入し、以後は原則市場原理にゆだねるということです。

穀物、乳製品ともに米国の農業政策の基本は国際市場価格にリンクさせながら、生産者と国際市場の間に不足払いを位置づけして、農業保護をしている点です。

日本との大きな差異は、米、乳製品ともに、不払い制度がありながら、国際価格と国内価格が隔絶されていることです。米国では政府機関である商品金融公社（CCC）があり、生産物を担保とした、量的無制限の買入れ機関があります。無制限の受け入れの最終処理は、補助金付輸出による海外市場での処分です。

米国は市場原理による農業かと思っていました。基本的には生産調整の奨励金、不足払制度によ

る価格支持ということを研修して思いを新にしました。

九六年新農業法によると、二〇〇二年からは市場原理による農業が展開される計画です。各分野の担当者によると、二〇〇二年はあくまでも目標であり、明日のことも分からない時代にあつて二〇〇二年になれば、また、その時点で考えれば良いという、卒直な答えがありました。米国の農業に対する愛着と市場原理の徹底と、複雑な米国農業を垣間見ましたので、次号にて報告致します。



暮らしの

知恵袋



洋ラン栽培の楽しみ方

北根室地区農業改良普及センター

① 株の状態

室内に取り込まれた株は、現在夜温の低下（自然現象）によって花芽の形成を促されているところですが、間もなく花芽が顔を出し、さらに花茎となって伸長を始め、順次着蕾します。胡蝶蘭は、高温性ですので、この時期は保温に努めることが大切になります。

② 置き場所

住宅設備の改善により、人間生活の最適温度を目標としたものが多くなりました。このような暖房のある部屋では、胡蝶蘭はわりあい楽に育てることが出来ます。最低温度は一八℃できれば二〇℃確保したいものです。夜間暖房を切る部屋では、保温の工夫をして下さい。

③ 灌水

冬は暖房をとるため乾燥が激しくなります。一日に数回霧水を与えましょう。灌水は極力控え目としますが、夜温一五℃を切るような場合は七、十日に一回程度とします。この時期は休眠期にあたりますので、多灌水は根腐れの原因となります。

④ 肥料

温度が十分保てる場合は、生育を続けていますので施肥が必要でず。しかし、一般家庭では、むしろ失敗につながりかねませんので中止します。

⑤ 病害虫

通風を良くして病害虫の発生を防ぎましょう。この時期は主にカイガラムシ、ハダニの発生が考えられますので、よく観察する必要があります。

⑥ 主な作業

花茎がどんどん伸長してきます。おおむね、二十cmに達したら支柱を立て、花茎が真直ぐ伸びるように誘導しましょう。

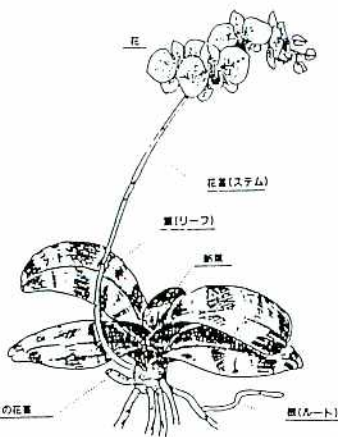
秋咲型の草花も姿を消し、これからは室内観賞用の鉢花が中心になります。鉢花といっても大変多くの種類がありますが、ここでは年々需要が増加傾向にあります。洋ランにスポットをあて、なかでも一般家庭に広く栽培されている胡蝶蘭（ファレノプシス）について、今後の栽培の要点を述べてみたいと思います。

一、四季の栽培管理

初夏から秋までが生長期間になり、その後、花芽分化期を経過して冬は生長を休止し、開花期を迎えます。生長期間中は、肥料をし

っかり与え、水も十分に与えなくてはなりません。また、光も重要ですが、強い光は葉焼けの原因になりますので遮光によって薄日を長く当てるようにします。こうして一夏が過ぎると新葉が二枚展開し、花芽分化の体制に入りますが、ある一定の低温期を経過しないとそれに到達することはできません。低温とは、おおむね一八℃程度ですが、二十、三十日の遭遇期間が必要です。花芽が肉眼で確認されてから九十日で開花します。

二、冬期間の栽培の要点



新葉後の花茎

根(ルート)

農協の財務状況

九月末における農協の財務状況についてお知らせします。

クミカン 九月末の状況は、昨年同期に対し預かり残高で二千万円、貸越残高で二千万円の減少となっております。収入については、乳代(五千二百万円)、个体販売(三千二百万円)、農産収入(二千万円)、農外収入(七千三百万円)などが増加し、農外収入(三千六百万円)が減少となり、収入合計では一億六千九百万円の増加となっております。支出については、飼料代(九千六百万円)、租税諸負担(四千百万円)が増加し、家計費(二千百万円)、資金返済(一千三百万円)、その他支出(二千七百万円)も増加となり、支出合計で一億六千八百万円の増加となっております。

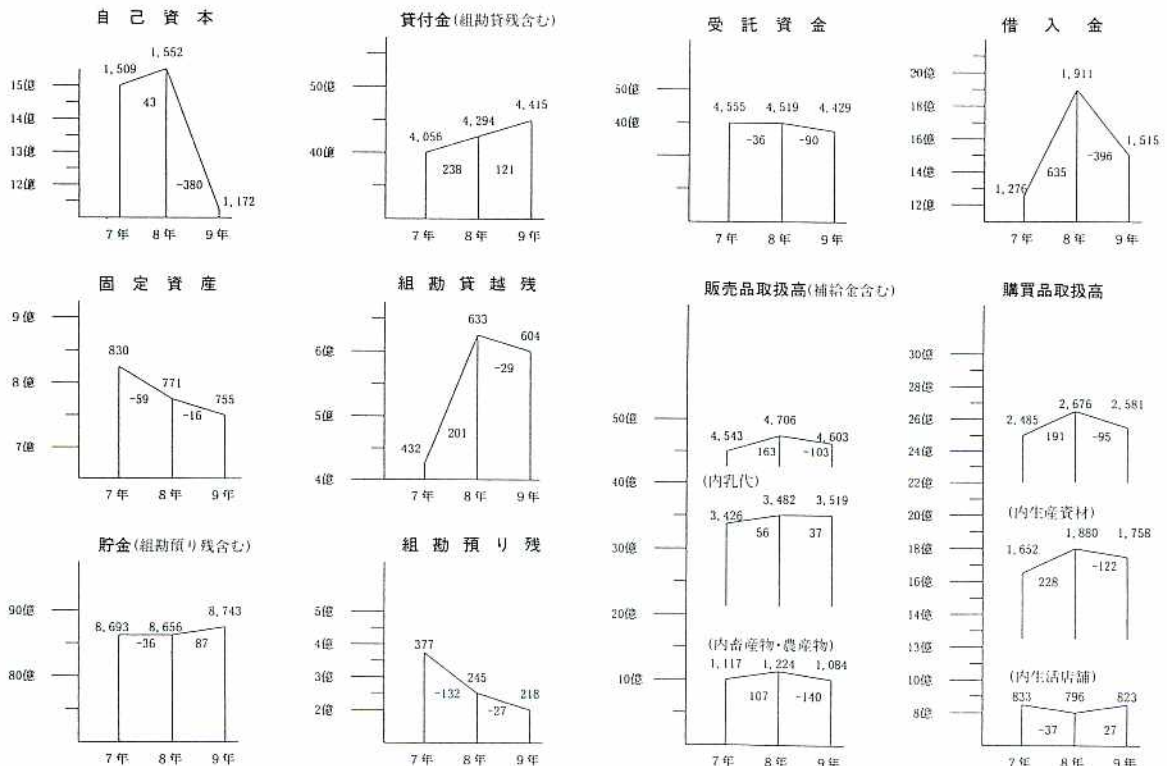
貸付金 組働含む貸付金総額では、昨年同期に比べ一億二千百万円の増加となっております。

貯金 昨年同期に比べ、定期貯金(二億九千七百万円)が増加し、当座性貯金(組働預り残、営農貯金、近代化貯金等)が減少したが、全体では、八千七百万円の増加となっております。今年も十一月十日から十二月三十日までの期間ダブルチャンスキャンペーンを実施しますので、今後もなお一層のご協力をお願い致します。

販売事業 乳代では、前年を上回っていますが、共計でん粉の減少により、取扱高で一億三百万円の減少となっております。下期の事業展開についても、个体販売などに積極的に取り組んでまいりますので、今後ともご協力をお願い致します。

購買事業 購買品取扱高については、生産資材で一億二千二百万円(肥料三千五百万円、農機具六千七百万円、牧草生産資材一千七百万円等)減少し、生活店舗が二千九千五百万円の減少となっております。今後下期におきまして、一層の努力をしてまいりますので、皆様方のご協力をお願い致します。

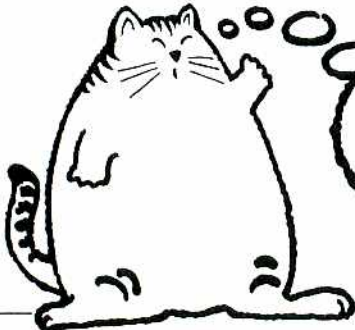
事業概況 各年度9月末現在(単位：百万円)



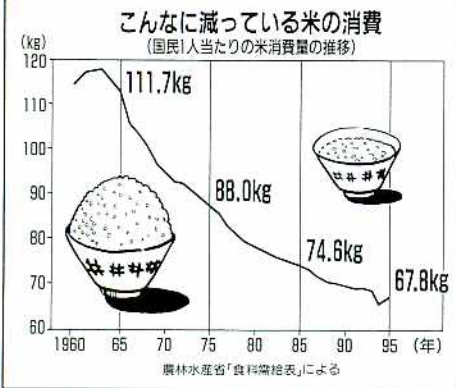
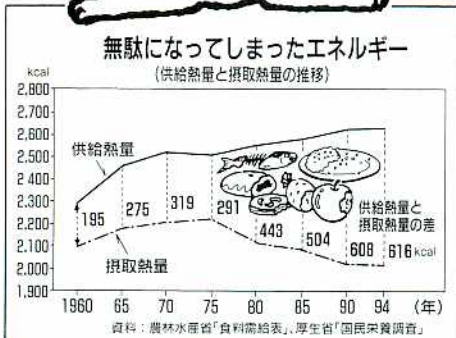
食料・農業・農村地域に関する

みんなで
語ろう

新たな基本法



※輸入してまで食べ残す、
不思議な国ニッポン



望ましい

栄養生活の提起を

上の言葉は、テレビや新聞などでおなじみの公共広告機構の意見広告のコピー。この広告に登場する、太りすぎて動くことさえ苦しそうな猫の姿が、見事に現代日本の「飽食」を象徴しています。私たちの食生活の矛盾について思わず考えさせられてしまうショッキングな広告です。

日本人の供給熱量と摂取熱量の差は年々拡大し、六百キロカロリーを超えています。食べ残して捨てる食料が増えているのです。地球上で八億四千万もの人たちが飢餓に苦しんでいるなかで、限りある食料資源の無駄使いが許されるのでしょうか。

かつて、お米を中心に野菜、魚、畜産物などを組み合わせた「日本型食生活」は、栄養のバランスがとれた理想に近い食事として世界中から注目されました。しかし、いま日本人の米消費量は急速に減少し続ける一方で、成人病や子供たちのアトピーなど健康上の不安が高まっています。世界一の長寿国ニッポンですが、元気なのは老人だけで、子供から働き盛りの大人まで病気を抱えているということにもなりかねません。

こうした食生活と健康面の実態からも、JAグループは、新たな基本法の中では、食料政策として国民の健康を守り、日本の風土に適した望ましい豊かで多様性のある栄養生活のあり方を提起し、消費と生産の両

株式会社の

農地取得に反対します

農地法では「農業生産法人」、具体的には農事組合法人、合名会社、合資会社、有限会社が農地を持つことが認められています。ただし、株式会社は農地取得は認められていません。現在、経済界を中心に、株式会社に農地に関する権利を与えて、農業に参入を認めるべきだという主張がされています。

しかし、バブル時に株式会社が土地投機を目的とした仮登記による農地取得や、山林原野を乱開発した経過は皆さんよくご承知の通りです。

さらに株式は譲渡性があるため、農業以外の資本により会社が支配されたとき、農家は経営に参加できなくなる恐れがあります。そして農業経営が行き詰まったら株式会社は農業から撤退してしまうでしょう。

このような性格の株式会社が参入してくれば、農地利用は農村集落の機能と密接に結びついているために、農村の荒廃や地域社会が維持できなくなる恐れがあります。こうした理由からJAグループは株式会社農地の取得には反対です。

※公共広告機構の意見広告から

理事會

の経過

第七回理事会

二、全道JA大会参加者の人選について

〈報告事項〉

一、生乳生産状況について

二、平成九年度でん粉工場操業経過実績（十月二十日現在）について

開催日時 平成九年十月二十八日

開催場所 中標津町農協中会議室

〈審議事項〉

一、平成九年度九月末財務状況について

二、平成九年度九月末予算統制計画について

三、組合員資格の変更について

四、空気清浄機の導入について

五、平成十年度営農計画樹立にあたっての基本方針と単価表の作成について

六、Aコープ新店舗建設に係る設計・監理と開発行為の委託契約締結について

七、平成九年度北海道農業元気づくり事業の実施について

〈協議事項〉

一、後継者組合加入の推進について

二、全道JA大会参加者の人選について

三、平成九年度畑作三品の価格決定について

四、平成九年度九月末購買事業概要について

五、平成九年度九月末生活店舗事業概要について

六、平成九年度九月末金融・共済事業概要について

七、道東地区肥料供給体制の再編について

八、スタンド裏通りの道路改良工事に伴う補償費（概算）について

九、農地保有合理化事業の対比について

十、第四次地域農業振興計画策定審議委員の決定について

十一、中標津高校ラグビー部花園出場の寄付について

十二、特別農政対策について

平成9年度 畑作3品の価格決定

平成9年度の価格運動については、財政構造改革や規制緩和の推進など厳しい引き下げ圧力の中での運動展開となり、平成3年度改定以降6年ぶりではありますが、下記の通り引き下げられ決定しました。

1. てん菜

イ、てん菜の生産者価格

最低生産者価格17,140円/ト (▲0.98%、▲170円/ト)

基準糖度帯 上限、下限とも0.1度引き上げられ16.7度以上17.0度以下となりました。

ロ、てん菜糖低コスト推進費（高能率計画生産推進費）は、新たな生産技術の導入や共同生産体制の整備など、てん菜の低コスト生産に向けた取組みを強化するため、平成9年産から3カ年を目途に190円/トが措置されました。

二、てん菜の事業団買入価格

174,416円/ト (▲2.14%、▲3,811円/ト)

2. 馬鈴しょ

イ、馬鈴しょの生産者価格

原料基準価格

14,270円/ト (▲0.97%、▲140円/ト)

ロ、馬鈴しょでん粉の買入基準価格

113,663円/ト (▲2.47%、▲2,877円/ト)

3. 甘しょ

イ、甘しょの生産者価格

原料基準価格

25,401円/ト (▲0.27%、▲68円/ト)

取引指導価格

31,740円/ト (▲0.41%、▲130円/ト)

ロ、甘しょでん粉の買入基準価格

141,519円/ト (▲1.70%、▲2,447円/ト)

4. 大豆

イ、基準価格（銘柄区分Ⅱ・2等価格）

14,160円/60kg(前年14,218円/60kg)

(対前年▲58円、▲0.41%)

ロ、流通改善緊急対策の拡充

特別集荷促進対策費

600円(60kg)→680円(60kg)

(対前年+80円、+13.3%)

ハ、最低標準額

5,940円/60kg(前年5,730円/60kg)

(対前年+210円、+3.7%)



酪農実習生秋の交流会

長期実習生による交流会が10月9日行なわれました。

前日の雨もあがり好天の中、農協を出発し、はじめに南中ほ場でのいも掘りを体験。次に標津のサーモンパークを見学し、あだち釣堀へと向かい釣りを楽しみました。昼食は焼肉やチャンチャン焼きを囲み、話しにも花が咲き、楽しい秋の一日ろすごしました。



フ オ ト ア ル ズ ム

秋晴れの中、大ハッスル 女性部パークゴルフ交流会

10月8日(水)に、女性部恒例のパークゴルフ交流会が開催されました。当初の計画では9月に予定されていたのですが、台風の影響で延期されており、今回の開催も大変心配されましたが、当日はちょっと風は強いものの、絶好の秋晴れ。参加者18人はマイスティック片手に、3人~4人のグループを作ってコースへ。

「ワーワー、キヤーキヤー」と声も高らかに、笑い声のたえない様子で、それぞれ思いっきり楽しんだ後、焼肉を囲んでの交流会へと続き、部員同士の親睦を深めました。



上手にうてるかな？



「晴れてよかった」と笑顔いっぱい

'97ホクレン大収穫祭へ出店 なかしべつミルクロード

10月21日から27日まで、'97ホクレン大収穫祭へ出店いたしました。

小樽にMILKROADなかしべつというテイクアウトショップを出店しているということもあり、ソフトクリームを中心に乳製品・伯爵・紅爵も大変好評でした。



夢をネットワークにのせて 北海道農業情報研究会ハミング'97根室大会

組織の枠を超えた個人レベルでの会員相互の交流を通して、農業に関わる情報やメディアのよりよい活用を考え、農業・農村における情報化の推進を図ることを目的とする「北海道農業情報研究会ハミング'97根室大会」が10月18日、別海町中央公民館で開催されました。

この大会は、根室、釧路管内での開催は初めてで、管内の酪農家だけでなく、各地から500人を超える参加者が集まりました。

会場には、各パソコンメーカーなどの最新酪農情報システムなどが展示され、参加者は熱心に説明を聞いていました。

また根室管内の特産物を展示・即売する「ふれあい広場」では農協青年部が、伯爵いも・ケフィア・オーレ・コーヒー牛乳など中標津の特産品をPRしました。



青年部も特産品のPRに努めました



10月の 組合日誌

- 2日 第7回理事会
- 3日 女性部支部長会議
てん菜生産振興会役員会
- 6日 中標津乳牛改良同志会役員会
- 10日 新店舗建設委員会
女性部三役会
- 15日 青年部幹事会
- 16日 一日皆貯金
- 17日 一日皆貯金
青年部役員会
- 18日 馬鈴しょ出荷督励
- 21日 第10回役員協議会
- 22日 第4回管理購買委員会
- 23日 巡回体力測定
- 24日 第6回営農委員会
- 28日 第8回理事会
- 31日 企画会議

編集後記

早いものでもう11月。紅葉の季節も終り、そろそろ冬仕度の準備が始まります。

組合員の皆様におかれましては馬鈴しょやビートの収穫作業、堆肥散布など、最後の追い込みで大変忙しい毎日のことと思いますが、くれぐれも事故のないよう注意して下さい。

また、朝夕の冷え込みも一段と厳しくなります。これから益々寒くなりますので風邪などひかぬよう健康には充分気を付けて下さい。

東京中標津会 会員募集のご案内

「東京中標津会」は中標津に在住していた方、ゆかりのある方を中心に集まっている会です。

ふるさと中標津への思いを込めて、会員相互の親睦会の開催、ふるさとツアーの実施、会報の発行などを行ない「ふるさと中標津の応援団」として交流を深めています。会の存在を知らず入会のチャンスの無い方が相当数いるかと思われます。

ご家族の方で修学、転勤、転居などにより東京を中心に首都圏（千葉県、埼玉県、神奈川県など）に在住している方がいらっしゃいましたら是非管理電算課までご紹介ください。

見事な菊の花ずらり

第16回 なかしべつ菊花展

10月31日から11月3日まで第16回なかしべつ菊花展が、中標津町総合文化会館で開催されました。

今年の菊花展には、菊花同好会と中標津農業高校から、色鮮やかな339点の大輪菊などが出展されました。

また、即売会コーナーでは野菜生産組合の越冬野菜、つけもの、いもだんごなどの販売も行なわれました。

